

平成23年度一般会計補正予算説明資料

7 款 商工費

2 項 工鉱業費

2 目 中小企業振興費

産業振興総室[新事業開拓室](内線:7657)

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
[債務負担行為] 美容・健康商品 創出支援事業	330	(債務負担 行為額 24,000)	(債務負担 行為額 24,000)				(債務負担 行為額 24,000)	
トータルコスト	2,726	26,396	29,122	(補正に係る主な業務内容) プロジェクトチーム運営、活用資源の調達に 関する調整、委託事業発注				
従事する職員数	0.3人	0.3人	0.6人					
工程表の政策 目標(指標)	地域資源活用及び農商工連携等による地域産業の活性化：地域資源活用及び農商 工連携による事業化件数の増加並びに成長(上場等)企業の創出 (地域資源活用への助成：100件、農商工連携への助成：100件)							

説明

1 事業の目的・概要

本県の農林水産資源を宝として活用し、新たな産業創出を目指すものとして、産学官連携による推進体制の構築と、県内試験研究機関・高等教育機関を主体とした県内農林水産資源の機能性素材の開発を行い、もってそれらを活用する取組事業者の拡大、事業者間連携の促進と、科学的根拠のある優れた美容(化粧品等)・健康(サプリメント等)商品の開発を推進する。

2 主な事業内容

(1)「美容・健康商品創出プロジェクトチーム」の運営(330千円)…当初予算計上済

昨年8月に立ち上げた産学官による「農商工こらぼ研究コンソーシアム」内に、化粧品、健康食品等の開発に特化したプロジェクトチームを新たに創設し、県内地域素材の選定やその活用に関する戦略を策定する検討会を開催する。

(2)美容・健康商品素材の開発委託(24,000千円)…今回

県内農林水産資源に由来する天然機能性成分を加工原料として活用するため、機能性素材の開発(機能性成分解析・産業的抽出方法の確立・機能性評価等)を(地独)鳥取県産業技術センター並びに鳥取大学に委託する。

平成23年度は4品目を委託する(うち、本試験(前期)2品目×@10,000千円、予備試験2品目×@2,000千円(平成24年まで債務負担(委託契約期間:契約後、12か月間))

- ・予備試験(12月):(本試験用原材料確保・適性抽出部位確認・季節変動把握)
- ・本試験(前期)(12月):(量産技術確立・保存性確立・素材化技術確立)
- ・本試験(後期)(12月):(応用試験(素材適性確認)・安全性確認・機能性評価(臨床))

上記試験はそれぞれ別契約で段階的に予備試験⇒本試験(前期)⇒本試験(後期)の順で実施(予備試験不要なものは、本試験(前期)から委託開始)。なお、本試験(前期)の委託試験の成果について、「美容・健康商品創出プロジェクトチーム」にて評価を行い、良い評価結果が出たものに限り、本試験(後期)契約を締結可能とする。

3 これまでの取り組み状況、改善点

【指標】地域資源活用の助成：100件(H30年度までに) → 【現状】54件(H23.3月時点)

【指標】農商工連携の助成：100件(H30年度までに) → 【現状】37件(H22.3月時点)

・平成22年度に、県経済成長戦略の策定に併せ、「美容と健康商品創出支援事業(県委託事業)(年間総事業費6,000千円)により、4件の事業委託を実施し、機能性成分の解析、成分抽出方法の確立と企業個別の商品開発に関する研究を県内民間事業者に委託した(タモギタケ(美容クリーム等)、黒らっきょう(健康食品)、二十世紀梨(石鹸等))。

